

1 題材 家庭分野「家族と家庭生活」

2 小題材 「家族を見つめる」

3 小題材について

この小題材は、家庭分野「家族と家庭生活」の内容(3)家庭と家族関係についてである。家庭や家族の基本的な機能を知り、家族関係をよりよくする方法を考えさせることをねらいとしている。

家庭は家族の生活の場であり、衣食住や安全・保護などの基本的な要求を充足し、家族とのかかわりの中で心の安定や安らぎを得ていることについて考えさせる。また、家族関係をよりよくするためにはどのような方法があるか、家族の一員としてどのようなことができるのかを具体的に考えさせ、実践に結び付くようにする。

生徒は毎日の生活を特別意識することなく過ごしている。そのため、家族とのかかわりの中で、心の安定や安らぎを得ていることについても考えたことがないと思われる。そこで、家庭や家族について、生徒にじっくりと考えさせる機会とする。そして、家族に支えられている存在としてだけでなく、家族を支える存在として考えさせ、家族関係をよりよくする方法の実践へ結び付ける。

4 小題材の目標

- ・家庭や家族の基本的な機能を知る。
- ・家族関係をよりよくする方法を考えさせる。

5 評価計画

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
家庭と家族関係について、関心をもって取り組み、家族関係をよりよくしようとしている	家族関係をよりよくする方法を工夫している	ロールプレイングをとおして、家族関係をよりよくする方法が実践できる	家庭や家族の基本的な機能について理解している

6 指導計画

- 家族や家庭の機能について考える。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- 家族は変化するものであることを知る。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- 家族関係をよりよくするとはどういうことかを考える。・・・・・・・・・・・・ 1時間
- ロールプレイングをとおして、家族をよい気持ちにする方法を実践する。・・・・ 1時間

【授業実践展開案（1時間目）】

【本時の目標】TV番組や本に出ている家族を調べ家族や家庭の機能について考える。

【本時の展開】

段階	学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
導入 10分	1 TV番組や本で家族が出てくる番組名、本名を発表する。	前もって調べさせる。できるだけ多くの家族について発表させる。	
展開 30分	2 出された番組の家族の中で、いいなあと思う家族をひとつ選び理由をつけて発表する。	いいなあと思う理由を多く発表させる。	関心・意欲・態度 (観察・発言) 家族や家庭の機能について考えようとしている。
	3 自分の選んだ家族や発表で出された家族から家族や家庭にはどのような機能があるのか考える。 4 家族や家庭の機能について考えたことを発表する。	家族は、個人を圧迫するものではなく、個人の発達を助け合う家族という視点でとらえる。 血縁ではなく心理なつながりが家族であると、社会での家族の定義も変化したことを、出された家族からとらえさせる。	
終結 10分	5 家庭は家族の生活の場であり、衣食住や安全・保護などの基本的な要求を充足し、家族とのかかわりの中で心の安定や安らぎを得ていることについてまとめる。	生徒の発表からでた言葉でまとめる。 必要なときは補足説明をする。	知識・理解 (学習シートへの記入状況) 家族や家庭の機能について理解している。

【授業実践展開案（2時間目）】

【本時の目標】 家族は変化するものであることを知る。

【本時の展開】

段階	学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
導入 10分	1 前時の感想を読む。 2 家族は支え合っている，助け合っているの感想があったが，自分の家族についてどのくらい知っているのか考えてみる。	家族について知っているかチェックをとおして，身近な家族でも自分から知ろうとすることが必要であると気付かせる。	
展開 30分	本時の目標 家族に変化を与えるものについて考えよう。		関心・意欲・態度（観察，発言） 家族の変化について考えようとしている。
	3 10年前と10年後の家族について考える。 4 10年前と10年後の家族の変化から，時間の流れが家族に変化を与えることを理解する。 時間以外に家族に変化を与えるものを考える。 5 4の中で，家族にとってうれしい変化をもたらすものについて発表する。 自分の行動が家族に与える影響について考える。	記入できない生徒については無理に書かせない。 作業をスムーズにするために教師から例を提示する。 生まれた家族と創る家族があることを理解させる。 生徒からなかなか出ないときは，いくつかヒントとして出す。 誕生，結婚，引っ越し，入学式，就職，死，事故，宝くじ当選，社会情勢，リストラ，等。 家族が直面する変化は，困難や悲しいことだけでなく幸せやうれしいことがあることに気付かせ，自分の行動が家族を喜ばせたり，悲しませたりすることを考えさせる。	
終結 10分	6 家族をよい気持ちにするために自分ができることを学習シートにまとめる。	学習シートへ記入できない生徒へ声かけをする。	知識・理解（学習シートへの記入状況） 家族が変化することを理解できる。 家族をよい気持ちにする方法が理解できる。

【授業実践展開案（3時間目）】

【本時の目標】 家族関係をよりよくするにはどうするかを考える。

【本時の展開】

段階	学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
導入 10分	<p>1 家族について知ってるかチェックのNoがYesになったか確認をする。</p> <p>2 前時の家族をよい気持ちにする方法をまとめた資料を読む。</p>	<p>前時の家族についてのチェックでNoがYesになったかを確認させて実行することの大切さに気付かせる。</p> <p>まとめた資料を黒板に貼る。</p>	
本時の課題 家族をよい気持ちにすると自分はどんな気持ちになるのか考える			
展開 35分	<p>3 悩み相談の新聞記事を読み相談者の気持ちが相談する前と後ではどのように変化するのか考え、発表する。</p> <p>4 相談者が相談してよかったと思われるには、どのようなことに気をつければよいのか発表する。</p> <p>5 家族をよい気持ちにすると自分はどんな気持ちになるのか考え、発表する。</p>	<p>家族をよい気持ちにする方法に出された、悩みを聞いてあげるとはどういうことか考えさせる。</p> <p>相手の立場を考えることの大切さに気付かせる。</p> <p>家族のためだけでなく自分自身の気持ちがよくなることに気付かせる。</p>	<p>関心・意欲・態度 (観察・発言) 相手の気持ちを考えようとしている。</p> <p>知識・理解 (学習シートへの記入状況) 家族をよい気持ちにした時の自分の気持ちを理解できる。</p>
終結 5分	<p>6 次時の学習内容について確認する。</p>	<p>次時は実際に悩みにこたえるロールプレイングをすることを知らせる。</p>	

【授業実践展開案（4時間目）】

【本時の目標】ロールプレイングをとおして，家族をよい気持ちにする方法を実践する。

【本時の展開】

段階	学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
導入 5分	1 掲示物を見て，家族をよい気持ちにする方法を思い出す。	前時の授業を想起させ，家族がよい気持ちになると自分もよい気持ちになり，自分も家族に変化を与える一人であることを思い出させる。	
	本時の課題 悩み相談に答えよう。		
展開 35分	2 資料の悩み相談に対するアドバイスを学習シートに記入する。 3 自分で考えたアドバイスを隣の人とペアになって発表し班で交流する。(ロールプレイング)	なかなか書くことができない生徒に，前時の学習シートを参考にさせて三つの悩みのうち一つはアドバイスができるようにさせる。 アドバイスが書けなかった生徒は発表したものを参考にして書く。 ロールプレイングでは，相談者とアドバイスをする人の両者を体験させる。	関心・意欲・態度 (観察) ロールプレイングに取り組んでいる。 技能 (学習シートへの記入・発表) 悩みに対するアドバイスができる。
終結 10分	4 班の代表のロールプレイングをみて，どんなことに気をつけているのか考える。 家族の一員としてうまくやっていく心遣い等を再確認する。	どんなことに気をつけながら悩みに答えようとしたのかに気付かせ，家族関係をよりよくするために必要なことに気付かせる。 家族での実践につなげるように意欲付けを行う。	

